

音楽教室専用

YAMAHA 一段鍵盤モデル

HA-1

取扱説明書

## はじめに

ヤマハHA-1は、ヤマハ音楽教室の会場で使っていただくために開発された、音楽教室専用一段鍵盤モデルです。豊かな音楽性はもちろんのこと、教室の雰囲気明るくするコンパクトでスマートなデザイン、安全性と使いやすさを配慮した構造など、音楽教室での使用状況を考えてつくられています。

ご使用にあたりましては、その多彩な機能を充分にお使いいただくため、また正しく安全にお使いいただくために、かならず本書をお読みください。また、お読みになった後は大切に保管し、わからないことが生じた時にご活用ください。

## ▶ ご使用上の注意 ◀



**必ず、AC100Vのコンセントから電源を。**

大型クーラーやセントラルヒーティングの電圧は、AC(交流)200Vのものがあります。誤って接続すると大変危険ですので、充分ご注意ください。



**内部に水が入った場合は。**

誤って水などをかけ、本体の内部に入ってしまった場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いた上で、電音サービスセンター、サービスステーションまでご連絡ください。



**電源プラグの扱いに注意。**

ぬれた手で電源プラグにふれると、感電するおそれがありますので、充分ご注意ください。また、コードの断線やショートを防ぐため、電源コードをコンセントから抜くときは、電源プラグ自体を持って抜いてください。



**電源スイッチを切り忘れないように。**

電源が入ったまま長時間放置すると、思わぬ事故の原因になることがありますので、使用後は、必ず電源スイッチを切ってください。



**本体の内部には、絶対ふれないで。**

本体の改造や部品の取りはずしは、大変危険ですので、絶対におやめください。故障だと思われる場合は、電音サービスセンター、サービスステーションまでご連絡ください。



**エレクトーンを移動するときは。**

移動の際はかならず電源コードをコンセントから抜き、本体内部に収納させてください。また、段差にぶついたり、床面の状態が悪い場所での移動は、できるだけさけてください。



# FUNCTION 各部の名称とはたらき

ページ

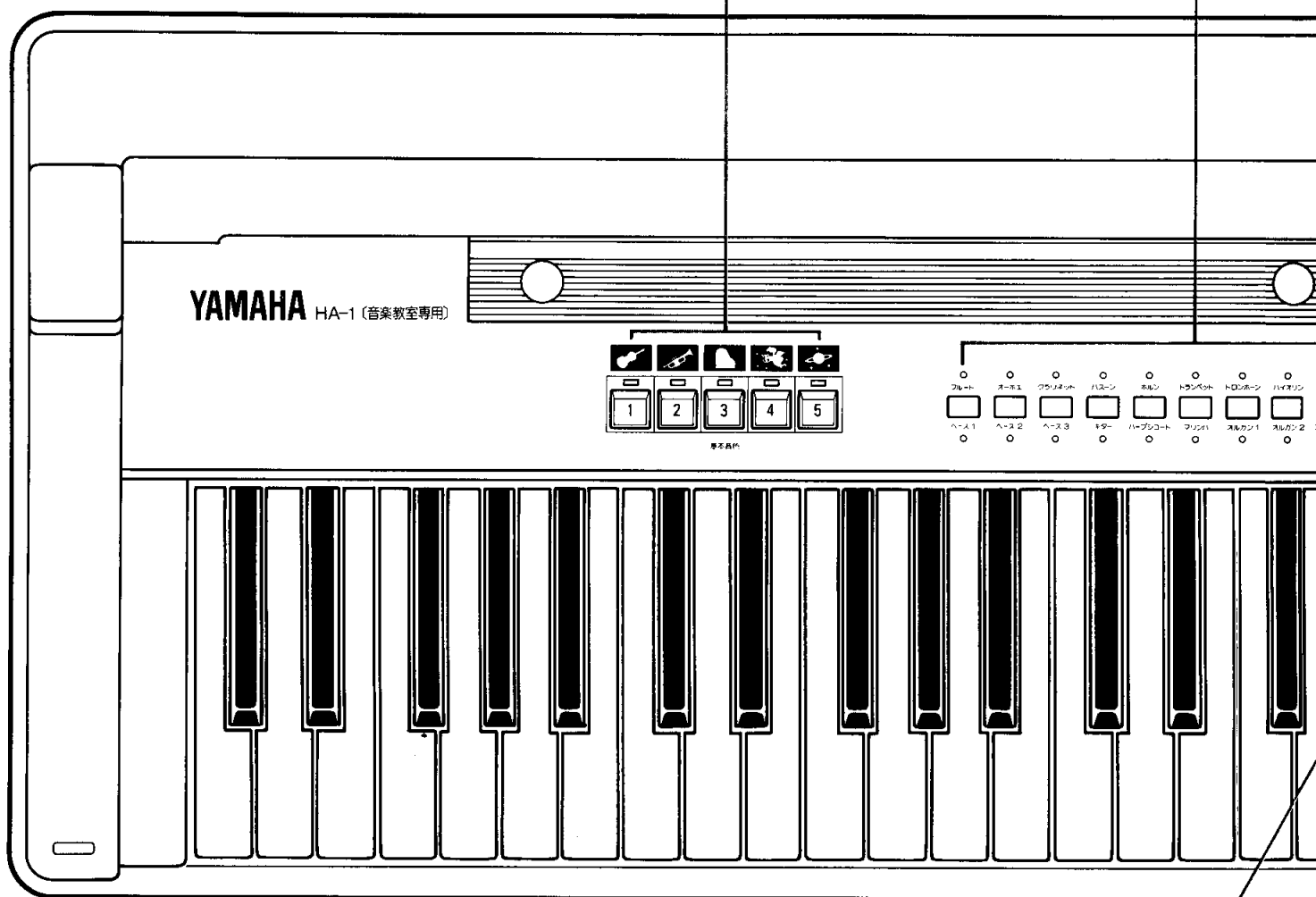
## P4 基本音色

基本的な5種類の音色が選べます。

ページ

## P3 音色のボタ

フルート、ストリングス、ギターなど、20種類の音色が選べます。



### ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプでも使用できます。

ページ

## P5 ビブラート

音をふるわせる効果。

ン  
ギター  
ありま

ページ

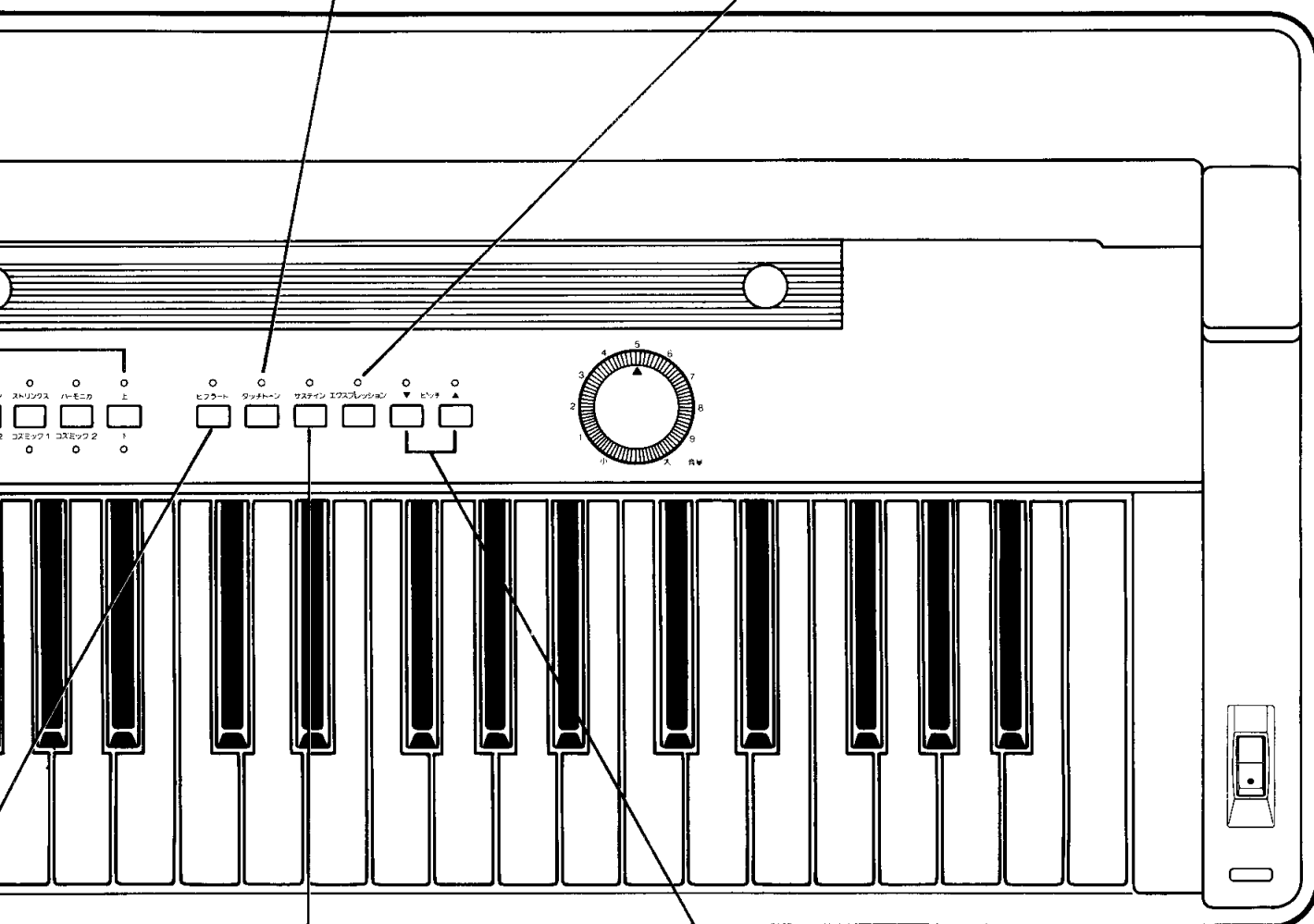
## P5 タッチトーン

鍵盤タッチによって音量と音色を微妙にコントロールできます。

ページ

## P5 エクスプレッション

これをONにすると、エクスプレッションペダルで音量がコントロールできるようになります。



ページ

## P5 サステイン

音に余韻をあたえる効果。

ページ

## P5 ピッチ

音程の微調整。

# CONTENTS

---

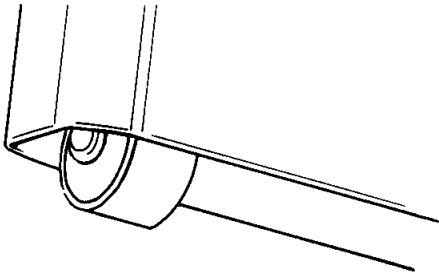
	Page
■ご使用になる前に	2
■操作方法	3
1.音色をセット	3
2.基本音色	4
3.効果・コントロール	5
■未永く安全にお使いいただくために	6
■故障と誤りやすい現象	7
■仕　　様	8
■YAMAHA電気音響製品サービス拠点	9



# ご使用になる前に

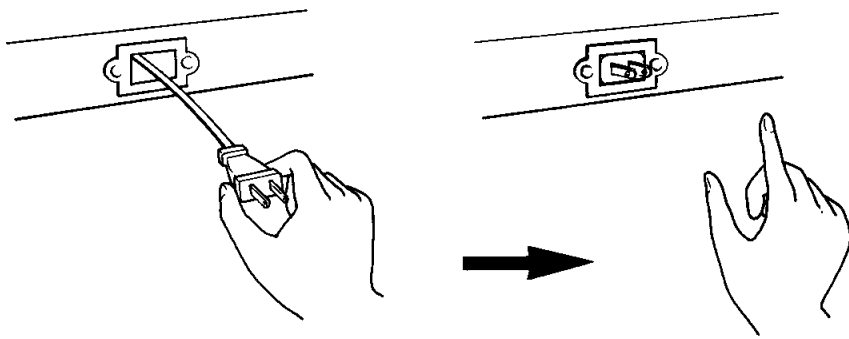
ヤマハ一段鍵盤モデル HA-1 は、教室備品としての使いやすさを考えて、キャスターやコードリール機能などを備えています。

## 1 キャスター／ひとりでも簡単に楽器を移動できます。



本体の下部には、右側にキャスターが付いているので、本体を簡単に移動させることができます。

## 2 コードリール機能／電源コードを本体内部に収納できます。

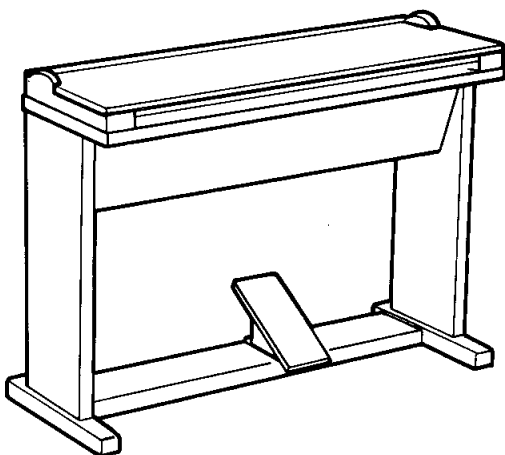


HA-1 を使わないときは、安全のため本体内部に電源コードをしまっておきましょう。コードを軽く引っ張り、離すと、自動的に本体内部に収納されます。

### 〈注意事項〉

- ★コードは乱暴に取り扱おうと断線のおそれがありますので、ご注意ください。
- ★コードは赤いテープ以上引き出さないでください。

## 3 フタを閉めれば机としても使えます。／フタは開けると譜面台として使え、閉めると机として使用できます。



### 〈注意事項〉

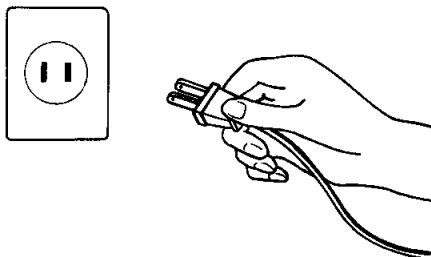
- ★フタを閉める際は、譜面を乗せるところに筆箱など大きなものを置いたままでは絶対に閉めないでください。(楽器本体に傷がつく場合があります。)なお、フタの回転軸には安全のため緩衝装置が付けてあり、多少フタの開閉が重く感じる場合があります。
- ★フタの上にこしかけたり、重い物を乗せないでください。



# 1.音色をセット

フルートからストリングス、コスミックまで、さまざまな音色が選べます。

**1** 電源プラグをコンセントに差し込みます。

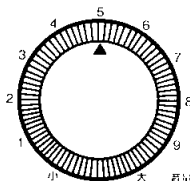


▶ AC100Vのコンセントであることを確認してください。

**2** 電源のスイッチ<sup>Ⓐ</sup>を入れます。

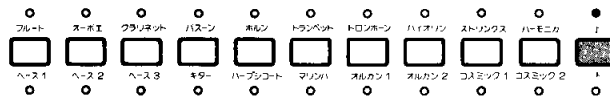


**3** 音量<sup>Ⓑ</sup>を中央ぐらいにセット。



▶ 全体の音量を調節します。

**4** 上下どちらの音色を選ぶかを決めます。(Ⓒ)

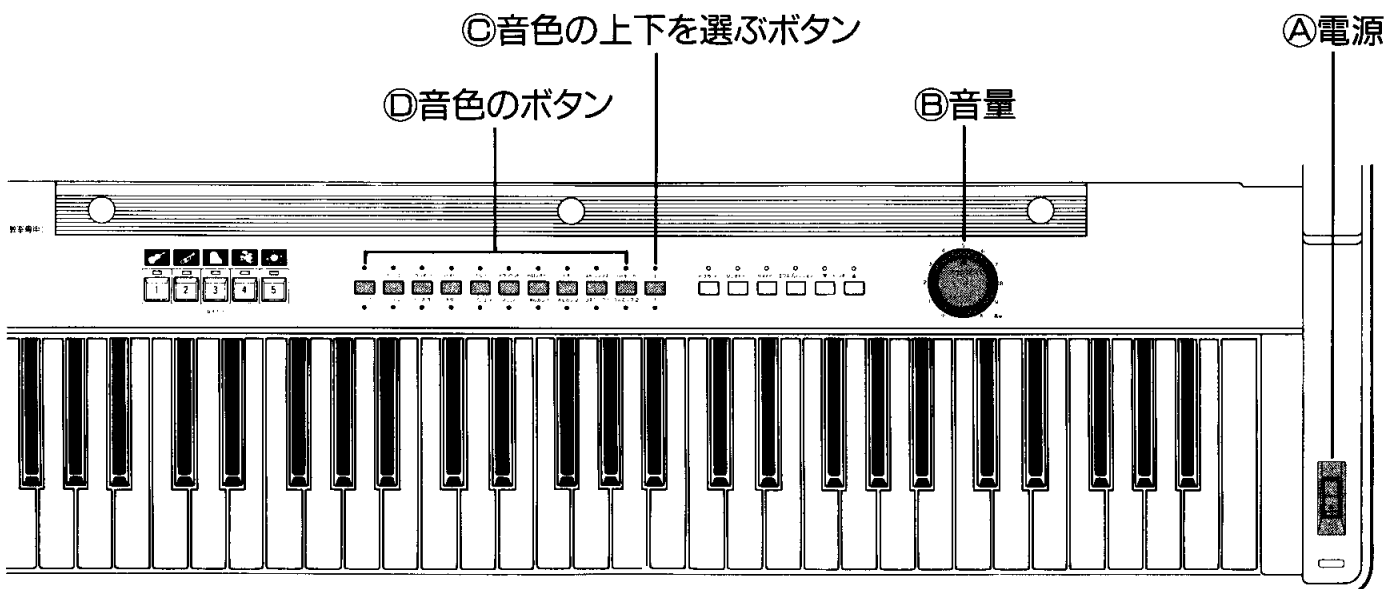


- ▶ 上段の音色を選ぶ場合は、「上」のランプを点灯にします。
- ▶ 下段の音色を選ぶ場合は、「下」のランプを点灯にします。
- ▶ 電源投入時は上の音色が選ばれています。

**5** 音色のボタンをひとつ押し(Ⓓ)、鍵盤を弾いてみましょう。



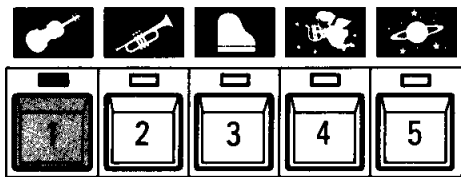
- ▶ 押したボタンのランプが点灯し、音色がセットされます。
- ▶ 電源投入時は、基本音色 1 が選ばれています。



## 2.基本音色

教室のレッスンなどによく使われる5種類の基本的な音色を呼び出せます。

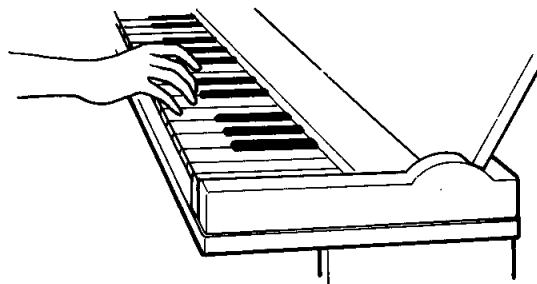
**1** 基本音色の1～5のうち、好きな番号にセット。



▶ 押したボタンのランプが点灯し、基本音色のひとつがセットされます。

▶ 電源投入時は基本音色1が選ばれています。

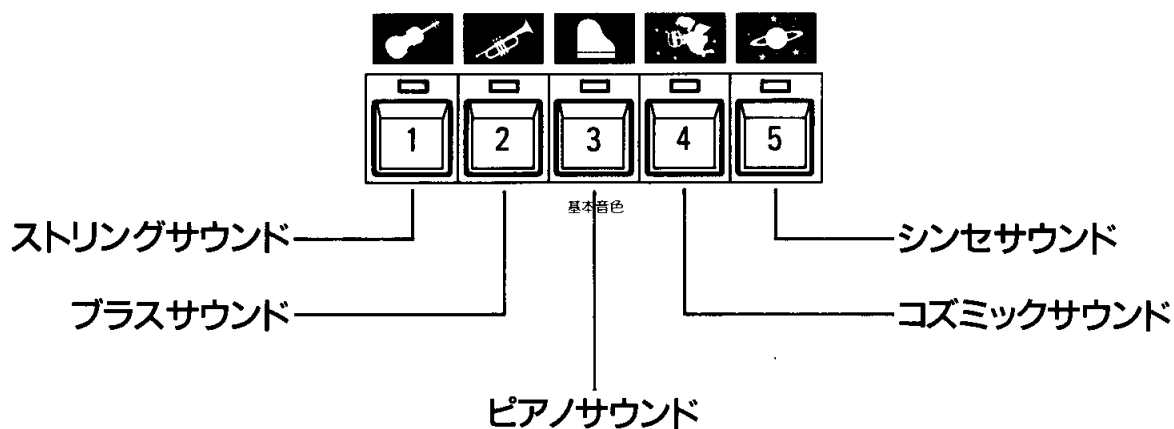
**2** 鍵盤を弾いてみましょう。



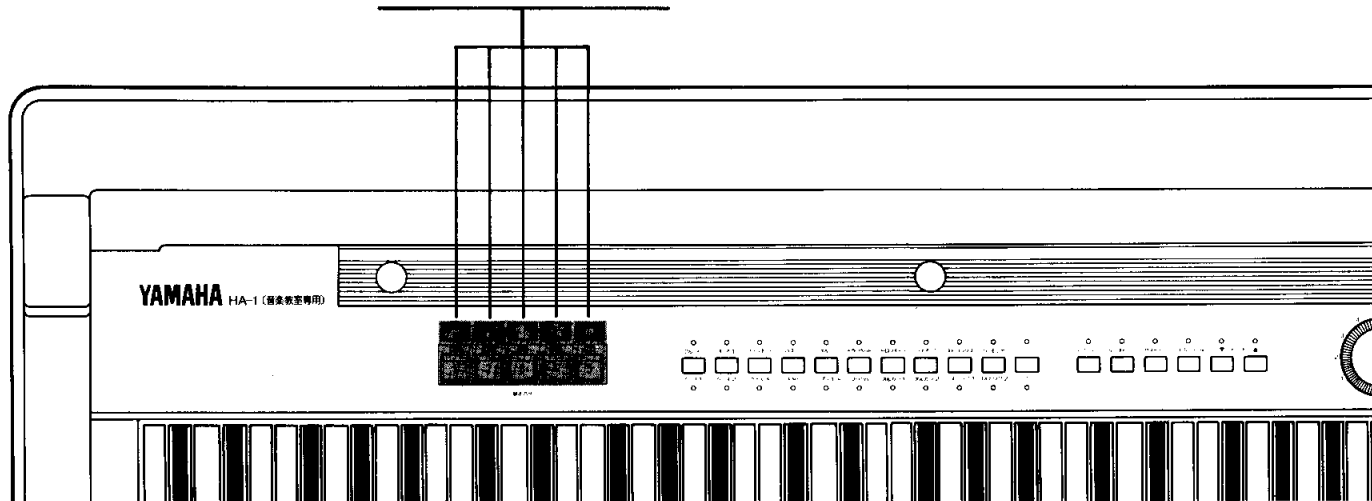
## ET CETRA

1～5のボタンにセットされている音色は…

それぞれのボタンごとに、こんな音色イメージをもっています。



### 基本音色のボタン



### 3.効果・コントロール

効果を加えたり、音色・音量のコントロールによって、より豊かな音楽表現ができます。

#### A ビブラート

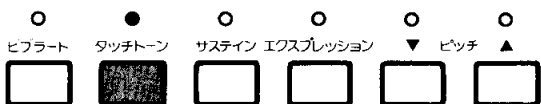
音をふるわせる効果です。



- ▶ ボタンをもう一度押すと、OFFになります。
- ▶ 音色によっては、ビブラートの効果がかからないものがあります。

#### B タッチトーン

鍵盤タッチ(鍵盤を弾く時の強弱)によって、音量と音色を微妙に変化させることができます。



- ▶ ボタンをもう一度押すと、OFFになります。

#### C サステイン

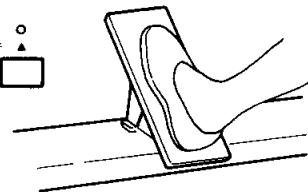
鍵盤から指を離れたあと、音に余韻をつける効果です。



- ▶ ボタンをもう一度押すと、OFFになります。

#### D エクスプレッション

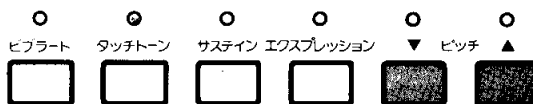
このボタンをONにすると、エクスプレッションペダルで音量がコントロールできるようになります。



- ▶ ボタンをもう一度押すと、OFFになります。
- ▶ このボタンがOFFになっている時は、エクスプレッションペダルをいっぱいにもみ込んだ状態に固定され、エクスプレッションペダルを操作しても変化しません。

#### E ピッチ

全体の音程を微妙に調節できます。



- ▶ "▼"のボタンを1回押すたびに、約0.3Hzずつピッチが下がります。(ノーマル・ピッチから最高4ステップ)
- ▶ "▲"のボタンを1回押すたびに、約0.3Hzずつピッチが上がります。(ノーマルピッチから最高15ステップ)
- ▶ ふたつのボタンを同時に押すと、ノーマルなピッチ(A=440 Hz)に戻ります。
- ▶ 電源をいったん切って再び入れると、ノーマルなピッチに戻ります。

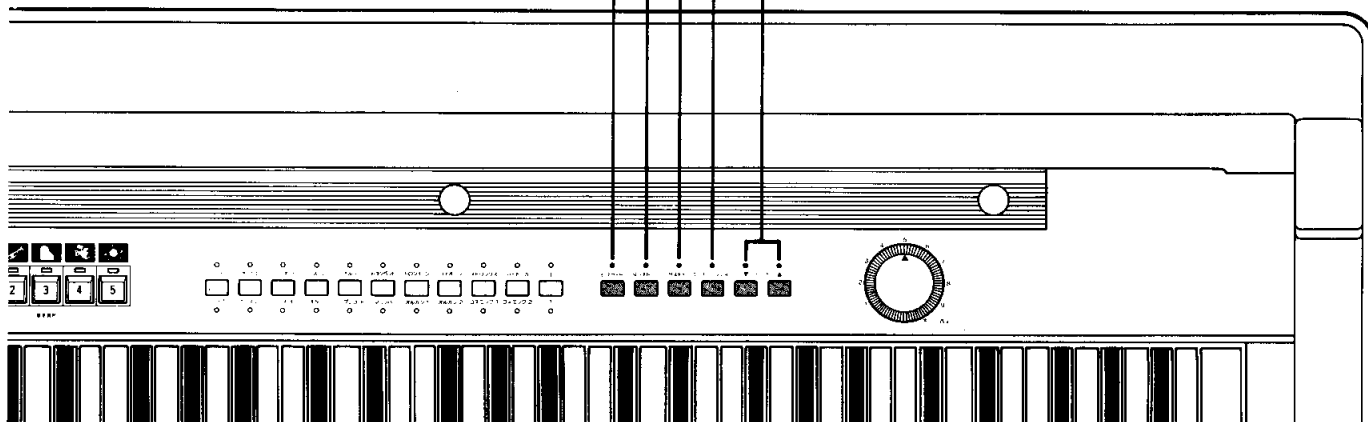
□サステイン

□タッチトーン

△ビブラート

□エクスプレッション

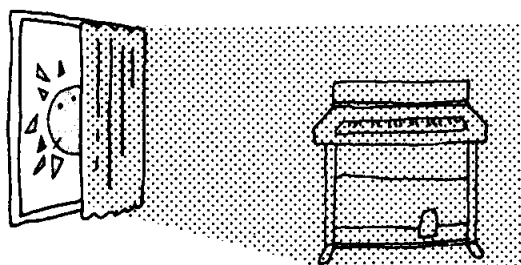
Eピッチ



# 未永く安全にお使いいただくために

## 設置場所について

- 直射日光はさけてください。
- 暖房器具の近くには設置しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所や、温度の特に低い場所もさけてください。
- 振動の少ない、平らな床面に設置してください。
- 壁から10cm以上離すようにしてください。壁が直接振動するのを防ぎます。



## 外装・鍵盤のお手入れは

- 外装や鍵盤のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- よこれがひどい場合は、水でうすめた台所用中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤は、鍵盤や外装をいためますので、絶対に使用しないでください。
- 外装の塗装は、ビニール製品と化学反応を起こすことがありますので、ビニール製のカバーなどはご使用にならないでください。



## 電源コードを大切に

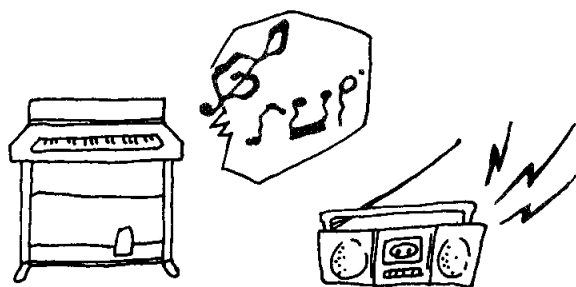
- 楽器本体や椅子などで電源コードを踏みつけたり、足に引っかけたりしないように注意してください。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っばらないでください。
- 電源コードの継ぎ足しは危険ですからさけてください。
- 本体を移動させる時は、必ず電源コードを抜いてください。

## 無理な力を加えないでください。

- ボタンやつまみ、スイッチ類に無理な力を加えることはさけてください。
- 椅子、上ボタンなどの取扱いは、キズをつけないように注意してください。

## 他の電気機器への影響について

この楽器はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなどの電気機器を同時に使用すると、雑音や誤動作の原因になることがあります。他の電気機器から充分離してご使用ください。

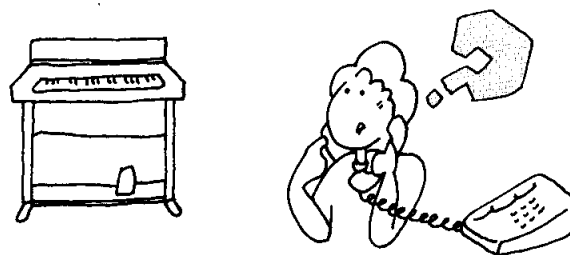


## 落雷に対する注意

落雷などのおそれがあるときは、早めに電源コードをコンセントから抜いてください。

## 万一異常があったら

使用中に音がでなくなったり、異常なおい煙がでた場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、電音サービスセンター、サービスステーションまでご連絡ください。



## 本書と保証書の保管について

本書をお読みにになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

# 故障と誤りやすい現象

次のような現象は故障ではありませんので、ご注意ください。

現 象	原 因 と 処 置
時々、ガリッとかポツンという雑音が入る。	近くで電気器具の電源をON/OFFにしたり、故障したネオンサインなどを使用している場合は、雑音の入ることがあります。原因と思われる機器から、なるべく離れたコンセントをお使いください。また、原因不明の場合は、電音サービスセンター、サービスステーションまでご相談ください。
ラジオやテレビ、無線などの電波が入る。	近くに大電力の放送局やアマチュアの無線局があるためです。どうしても気になる場合は、電音サービスセンター、サービスステーションまでご相談ください。
ラジオやテレビに雑音の入ることがある。	HA-1のすぐ近くにラジオやテレビを置いてあると雑音の入ることがあります。なるべく離してご使用ください。
音が周囲の物を共鳴させてビビる。	HA-1の音は持続音が多いため、周囲の戸棚や窓ガラスなどの器物を共鳴させることがあります。気になる場合は、共鳴物を取り除くか、音量を小さくしてください。
選んだ音色によって、鍵盤位置による音量のばらつきがある。	一般に電子楽器では、音色を変えるという本質的な要素をもつため、音色による各鍵盤の音量のばらつきをなくすことは非常に困難です。HA-1では、どの音色でも演奏上問題のないように設計、調整されています。また、音量や音色は、設置場所や聞く位置などによって大きく異なることがあります。
同じ音量にセットしているのに、音色によって音量が変わる。	選んだ音色によっては、ほかの音色に比べて音量が小さく聞こえるものがあります。音量コントロールで調節してください。
割れるような感じや、ノイズが入るような感じのする音色がある。	主に管楽器系の音色で感じるがありますが、これは実際の楽器音の特徴を再現するために、とくに組み込まれた音色効果です。ブラスの振動やプレスノイズなど、よりリアルな特徴をそなえた楽音が得られます。
音量を最大にセットしても、音が小さい。	パネルのエクスペッションがONで、エクスペッションペダルが起こされた状態になっています。エクスペッションペダルで音量をコントロールしない時は、エクスペッションをOFFにしてください。
エクスペッションペダルで音量のコントロールができない。	パネルのエクスペッションがOFFになっています。エクスペッションペダルで音量をコントロールする場合は、エクスペッションをONにしてください。
同時に8音押さえても、7音しか発音しない。	HA-1では、最大7音まで同時に発音するようになっています。同時に8音以上押さえた場合は、先に押さえた7音のみが発音します。
ビブラートをONにしても、効果がかからない音色がある。	音色によっては、ビブラートをONにしても効果がかからないように設計されているものがあります。
タッチコントロールが効かない。	タッチトーンの効き具合は、音色ごとにプリセットされています。音色によっては、鍵盤タッチによる音量と音色の変化が比較的小さいものがあります。
ピッチの▲ボタンを押しても、▼ボタンのランプが点灯する。(またはその逆)	ピッチのランプは、現在セットされているピッチが、ノーマルよりも高いか低いかに応じて点灯するようになっています。したがって、ノーマルピッチよりも低くしている時は、▲ボタンを押してピッチを上げても、▼のランプが点灯している場合があります。(その逆の場合もあります。)
電源コードを引っ張っても、収納されない。	電源コードを強く引っ張りすぎると、コードリール機能が正常に働かず、本体に収納されない場合があります。電源コードは軽く引っ張ってから離すようにしてください。

# 仕 様

鍵盤	61鍵(C-C <sub>4</sub> )
タッチレスポンス	イニシャルタッチ
基本音色	1・2・3・4・5
音 色	フルート、オーボエ、クラリネット、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バイオリン、ストリングス、ハーモニカ、ベース1・2・3、ギター、ハープシコード、マリンバ、オルガン1・2、コズミック1・2
効果・コントロール	ビブラート、タッチトーン、サステイン、エクスプレッション、ピッチ(▼、▲)
メインコントロール	音量、エクスプレッションペダル、電源
付属端子	ヘッドホン
教室機能	コードリール(巻き込み式)、キャスター(片側)
アンプ	30W
スピーカー	16cm×1、5cm×1
定格電圧・定格消費電力・ 定格周波数	100V・25W・50/60HZ
寸法・重量	<p>&lt;本体&gt;寸法/間口:96.3cm、奥行:38.6cm、高さ:71.6cm(フタを起こしたとき:90.7cm)</p> <p style="text-align: center;">重量/25kg</p> <p>&lt;椅子&gt;寸法/間口:46.1cm、奥行:29.9cm、高さ:46.4cm</p> <p style="text-align: center;">重量/4kg</p>
外 装	ライトグレー、アクリルラッカーフィニッシュ

# YAMAHA電気音響製品サービス拠点

本楽器の製造に当たっては万全を期しておりますが、万一故障などの際は、下記電音サービスセンター、サービスステーションまでお問い合わせください。

## 〔修理受付および修理品お預り窓口〕

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL.0878-51-7777、22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL.011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
浜松電音サービスセンター (本社)	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-6711
電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

エレクトーン事業部/〒430 浜松市中沢町10-1

TEL.0534(60)2191

東京事業所/〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル

TEL.03(572)3140

大阪事業所/〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心斎橋プラザビル東館

TEL.06(252)7541

名古屋事業所/〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL.052(201)5140

九州営業所/〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092(472)2152

北海道営業所/〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター

TEL.011(512)6114

仙台営業所/〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル

TEL.022(222)6141

広島営業所/〒730 広島市中区紙屋町1-1-18

TEL.082(244)3748

エレクトーン®は当社の登録商標です。

**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION  
ヤマハ株式会社